

第9回地域インフラ群再生戦略マネジメント実施手法検討会

令和7年12月18日

【森下公共事業企画調整課長】 それでは、定刻となりましたので、ただいまより第9回地域インフラ群再生戦略マネジメント実施手法検討会を開催いたします。本日の進行を務めさせていただきます総合政策局公共事業企画調整課の森下でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、検討会の開催に当たりまして、大臣官房審議官の小島より一言ご挨拶を申し上げます。

【小島大臣官房審議官（技術）】 はい。皆さんこんにちは。大臣官房審議官の小島でございます。

小澤座長を始めましてですね、委員の皆様には、大変、年末のご多忙の中ですね、地域インフラ群再生戦略マネジメントの第9回の実施手法検討会にご出席をいただきまして、深く感謝申し上げたいと思います。

委員の皆様にはですね、令和5年の8月に、検討会を設置させていただいた以降ですね、熱心にご協力いただきました。その1つの成果といたしまして、10月にですね、群マネの手引きVer.1ということですね、報告させていただくことができました。改めて、感謝を申し上げたいと思います。

最近の動向を説明させていただきますと、先日、臨時国会が閉幕いたしました。1つは、補正予算ということですね、国土交通省としては過去最大のですね、公共事業予算をいただいたということでございます。その中でも、老朽化対策ということで、1つの柱としてですね、やらせていただくということになってございますのでですね、ひとつ我々としてもそちらの方、力を入れてまいりたいと思います。

また、国会の審議の中でもですね、群マネという言葉が何度もですね、質問の方で出てきておりまして、後ろ向きというわけではなくて、ぜひそういう方向でですね、進めていけど、それをぜひ地方の方でも実践していくように様々な工夫をしていきなさいというような趣旨もですね、応援の形の質問を数多くいただきました。

ということで、非常にやっぱり群マネが世の中で注目を浴びていて期待が大きいということの裏返しだという風に認識してございます。

群マネの全国展開に向けましてですね、この手引きを持ちまして全国各地で普及活動を

進めるとともに、また既存の事例が乏しいスキームについてもさらに議論を進めましてですね、より良い形でバックアップしていければと思っております。

本日の検討会はですね、令和5年の12月にモデル地域に選定をされました自治体の皆様からですね、今まさに新たな取り組みを挑戦していただいているところでございますけれども、これまでのところでですね、明らかになった課題であるとか、現場の実態に即した生の情報をいただきまして、それを元にですね、委員の先生方からさらにアドバイス等いただければという風に考えてございます。

委員の先生方にはですね、手引きV e r . 2に向けたキックオフの会議ということで我々位置付けておりますのでですね、なんとか前向きな、自由なですね、ご議論いただければと思っております。どうぞ本日はよろしく願いいたします。

【森下公共事業企画調整課長】小島審議官、ありがとうございます。次に、実施検討会の座長をお務めいただきます小澤座長より一言ご挨拶をお願い申し上げます。小澤先生、よろしく願いいたします。

【小澤座長】実施検討会の座長を仰せつかっております政策研究大学院大学の小澤です。よろしく願いします。本日は、こちらには2市1町のモデル地域の皆さんにお集まりいただいております。

さらに、Webの向こう側に4自治体の皆さんにご参加いただいている、本日は取り組み状況、成果を聞かせていただくとともに、課題を抱えておられる部分については、ぜひ我々もそれを共有して、解決の方向を一緒に議論できればという風に思っています。

モデル地域の方、現場、それぞれの状況で悩んでおられると思えますけれども、我々がそれのできるだけの貢献をして、皆様方だけではなくて、その周りにおられる他の自治体の皆さんにとってもプラスになるような議論ができればいいなという風に思っております。

皆様方のご協力をお願い申し上げます、冒頭の挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございました。

【森下公共事業企画調整課長】小澤座長、ありがとうございます。続きまして、本日出席いただいております委員の方々のご紹介につきましては、出席者名簿をもって代えさせていただきます。

なお、公務の都合によりまして、小島審議官が途中退席の可能性がございますので、ご了承くださいましたらと思います。

次に、議事に先立ちまして、検討会の会議及び議事の公開についての確認をさせていた

できます。本日の検討会の議事は、議事番号の両括弧の1は公開、両括弧の2と3は非公開とさせていただきます。

また、議事1の終了後に、傍聴の方々につきましては、ご退出いただきますようお願いを申し上げます。また、その際、ご案内申し上げます。

それでは、冒頭カメラ撮りはここまでとさせていただきますと存じますので、報道関係者の方々、ご退席をお願いいたします。

(報道関係者退室)

【森下公共事業企画調整課長】 それでは、以降の進行は小澤座長に進行お願いできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【小澤座長】 はい。最初の議事でございます。本日ご議論いただきたい事項ということで、事務局からご説明いたします。

【柘津企画官】 公共事業企画調整課 柘津でございます。よろしくお願いいたします。着席にてご説明させていただきます。それでは、資料1、本日ご議論いただきたい事項、こちらをご覧ください。1枚おめくりください。1ページでございます。

これまでの経緯でございます。令和4年12月にメンテ小委を踏まえた技術部会というところでの提言をいただいたといったところに端を発しまして、令和5年8月に群マネの検討会を設置させていただきました。

その後、12月に群マネのモデル地域も選定させていただきながら、これまでの先行事例調査ですとか、そういったところについても分析をさせていただいて、令和7年の10月14日、先ほど冒頭でございましたが、群マネの手引きということで公表させていただきました。

ご指導いただきましてありがとうございます。手引きでございますけれども、我々が自己満足で申し訳ないですが、なるべく見ていただけるように工夫はしてございますので、色々な方にですね、手にとって気軽な形で読んでいただきたいと思います。

特にですね、今、土木技術者の方が非常に少ないという中で、土木工学専攻でない方も読んでいただけるように我々工夫したつもりでございますけれども、お手に取っていただいておりますね、ちょっとこういったところが足りないんじゃないかとか、またここはわかりにくいとか、そういったご意見も適宜いただければと思っております。まさにVer.2に向けて更新していきたいという風に考えてございます。そういった中で、3ページ目でございますが、非常にありがたいことにですね、様々なところからご期待をいただいております。

すでにですね、10月以降も講演会といったところも、数多くいただいております。今後

も色々なお声掛けをいただいておりますので、様々なところでこういった情勢を高めていければと考えております。

4ページ目でございますけれども、講演会の一部としてですね、モデル地域でもございます、大館市さんでも発表会といった形式で堀田先生にもご出席いただきながらやらせていただきました。

また、右側でございますが、東京ビックサイトで社会インフラテックがございましたけれども、メンテ大賞のセッションで岩城先生に群マネのセッションで植野先生にご登壇いただきました。

あるいは、左下でございますが、各地域ごとにお声がけをいただいて、これは富山県さんの例でございますけれども、勉強会も適宜開催させていただいておりますし、右下でございますが、そらゑさんとも群マネの手引きを味わっていただくという会をオンラインでさせていただくということで、これは1時間の予定だったんですけど、2時間半ぐらいやったというぐらい、かなり盛り上がった会でもございました。こういったところをまた引き続きやっていきたいという風に考えておりますが、本日も議論いただきたいこととして、5ページ、これは前回の8月に今後このような形で進めたいということでご提示させていただきました。この群マネの手引き Ver. 1 を公表させていただきましたけれども、今後、バージョンアップに向けてですね、計画検討会、それからこの実施検討会で特に深掘りしながら進めていきたいという風に考えてございます。

特にこの実施検討会につきましては、モラルハザードですとかインセンティブ設計ですとか、または発注の制度ですとか契約、こういったところ、様々な課題もあるかと思えます。そういったところも含めてですね、今後、モデル地域さんとの議論も深めながらですね、制度構築をさらに深めていきたいという風に考えてございます。

6ページ目にですね、今後のそういった進め方を整理させていただきました。

本日は、この太字にさせていただいておりますが、中間報告ということで、モデル地域さんの現時点での成果についてご報告いただきまして、また、課題についてもご提示いただいて、ご議論をさせていただければという風に考えてございます。

7ページでございますけれども、モデル地域ということで11地域いただいておりますけれども、本日はこの赤い囲みの7地域さんにご出席いただいております。

8ページでございます。最後になりますけれども、そういったことを踏まえまして、検討状況に対するご助言ということでアドバイスをいただければという風に考えてございま

す。そちらを踏まえまして、今後、このモデル地域さんの成果も踏まえながらですね、このVer.2へ向けた技術的な、あるいは専門的なご知見も賜ればという風に考えてますので、何卒よろしくお願いいいたします。事務局から、まず以上でございます。

【小澤座長】はい。ご説明ありがとうございました。何かご質問ございましたらお聞きしたいと思います。

よろしいですかね。はい、ありがとうございます。それでは、次の議事に移りたいと思いますが、ここからは非公開の議事となります。事務局からご案内をお願いいたします。

【森下公共事業企画調整課長】はい。事務局でございます。ここから非公開の議事となりますので、マスコミ並びに一般の傍聴参加の方はご退出をお願いしたいと思います。

—— 公開議事了 ——